

山田小学校 保護者説明会 会議録（概要）

- 日 時 令和8年5月20日（水）15：30 ～ 16：30
- 場 所 山田小学校 ボランティアルーム
- 参加者 保護者 11名
- 傍聴者 市議会議員 3名、一般0名

1 山田小学校再編について

事務局 資料に基づき説明

2 質疑・応答

保護者1： 説明会の場で意見が言えない人がいるということで、グーグルフォームがあるはずなのに、なぜ無くなったのですか。もう統合することが決まっているから、意見は聞かないということですか。

事務局： そういったわけではありません。
今まで一度もグーグルフォームでご回答いただけていない保護者の方でしょうか。

保護者1 説明会後にさらに意見要望を言いたかったのですが、ページがなくて意見を送ることができませんでした。それはもう意見を聞いてもらえないということですか。

事務局： 決してそういうわけではなく、今までグーグルフォームで2ヶ月程度の期間を設け、幅広い方からご意見を聴取した上で、このような対話重視の説明会を開催しています。今回はグーグルフォームでいただいたご意見のうち、前回ご紹介できなかったものを取り上げる形で説明会を開催しています。皆さんからのご意見や改善点はまだまだあるかと思しますので、いただいたご意見を踏まえ、今後どのような仕組みで意見聴取を行うか検討します。

保護者2： いただいた資料にあるように単純な数値結果のみをもって判断をしていただきたくないです。何回も説明会をしてくださっているので、その評価をすべきだと思いますが、そういう評価はされていますか。また、参加している保護者の立場としては、この説明会をする前後で、地域の人、保護者の方たちがどのぐらい意見が変わったのかも知りたいです。対話重視と書かれるのであれば、一方的にお互い言うだけの説明会は違うと思います。

事務局： 具体的にどういうことに対してこちらが評価すべきと考えればよいでしょうか。

保護者 2 : 説明会を通じて、どれだけ理解を得られたのか。最初の説明会は、たたき台も何もなく、統合するという枠組みだけが示された状態だったと思います。そこから何回か説明会を重ねる中で、内容がどのように変わってきたかについての評価はされないのですか。

事務局 : 評価をどうするかというご意見もあるかもしれませんが、良し悪しというよりも、教育委員会としては対話を重視する形で説明会を4回、延べでは5回開催してきました。説明会では、現状と今後の展望・方針をご説明した上で、グーグルフォームでいただいた様々なご意見をご報告しています。賛否両方のご意見をいただいている状況です。さらに、反対や要望をお持ちの方に対しては、教育委員会としてできる限りの対応をご説明し、ご理解いただけるよう努めています。対応できないことについては、その旨も正直にお伝えしています。結果として、賛否を数字で示すアンケートを求める声もあるかもしれませんが、教育委員会としては、皆さんの不安や不満にしっかりと向き合い、ご理解いただいた上で再編を一つ一つ進めていきたいと考えています。そのため、改めて賛否の数値をとることは考えていません。少し曖昧な回答になってしまった部分もありますが、実際のところ、どのような形で進めるのがよいか、どのような形で評価するのがよいか、具体的なご要望はありますでしょうか。

保護者 2 : 具体的な要望というわけではないのですが、この説明会自体に、正直なところ納得がいかない部分があります。対話重視とおっしゃっていますが、本当にそうなのかと思います。何回も説明していただいているのはわかるのですが、その方法については全く理解ができません。それでも理解を得たとされているのは、何をもちえてそう判断されているのかと思います。

事務局 : 反対のお立場で説明会に参加されており、根本的な考え方として納得できないというお気持ちだと思います。そういった方がいらっしゃることは、当然のことと受け止めています。教育委員会としても、全員に賛成していただけるとは考えていません。多くの保護者の方々のお考えを把握することはもちろんですが、要望や不満に対して一つ一つ向き合い、どう対応していくかというのが、対話重視の説明会の趣旨です。どのような対応をしても賛成できないという方がいることは承知の上ですが、それでもどのような形であればご理解いただけるのかを探りながら、説明会を進めています。それがこちらの趣旨ですので、ご理解いただければと思います。それでもなお賛成できないというお気持ちであれば、その旨をしっかりと把握させていただきます。

保護者 3 : 必要な意見を伺いたいとおっしゃっているのに、なぜグーグルフォームを2

ヶ月で閉めたのですか。閉める必要が何かあったのですか。説明会は何回も開催され、毎回内容も違います。内容が変わるたびに、新たな不安や疑問が出てくるかもしれない。それなのになぜ閉めたのですか。

事務局： グーグルフォームを締め切ったのは、意図的というよりも、一つの節目として、一定の期間を設け、説明会にフィードバックしていくという形で進めてきましたが、ある程度のご意見は聴取できたと判断し、締め切っています。ただ、今回このようなご意見をいただきましたので、一度持ち帰らせていただき、教育委員会への改善要望や、子どもたちの安全確保につながるご意見をいただける仕組みについて、改めて考えさせていただきたいと思います。

保護者2： 今回の資料を tetoru で送るときには、グーグルフォームを付けることをよろしくをお願いします。

事務局： その仕組みについては、持ち帰って検討させてください。

保護者3： 保護者の何%が賛成で、何%が反対なのかという数字が見えないため、今どういう状況なのかがわかりません。何度説明会に来ても、それは変わりません。賛成でも反対でも、ここで意見を言うのは構わないと思っています。それを判断するのは教育委員会の皆さんだと思いますし、どちらの意見でもいいと思います。ただ、おおむね理解を得たと教育委員会が判断されるのは、少しおかしいと思います。私たちには納得できる数字も、目に見える根拠もないのに、理解が得られたとされるのは嫌だと思っています。前回の資料で、これだけ説明会をしてくれたから十分だという趣旨のご意見を書かれた方もいらっしゃいましたが、今現在どう思っているのかをやはり目に見える形で把握していただきたいと思います。他の地区では、準備委員会を立ち上げた後に反対運動が起きていると聞いています。進めるにしても、みんなが納得して賛成している状態でなければ、いい学校にするとは言えないと思います。アンケートを取って賛成多数となり、準備委員会を開くとなったときに自分自身が納得できるのかどうかが見えてきません。説明会には反対の人が多くとよく言われますが、意見を言いに来る人もいれば、グーグルフォームで送るだけの人もいます。実際のところどうなのか、今は全然わからない状態です。教育委員会の皆さんは、今どのくらい理解が得られているとお考えなのか、教えてください。

事務局： 5回の説明会を開催してきております。前回の説明会では、賛成・反対といった強い言葉も含め、保護者の生の声を全てお示ししました。グーグルフォームへのご意見は25件、要望が6件、賛成・反対・どちらでもないが19件

いただき、内容を見ますと、反対の方もいらっしゃいますが、全体の傾向として、教育委員会としては賛成の方が非常に多いという現状は把握しています。

保護者3： 25件の中に説明会に参加された方の意見は入っていませんよね。その 구글フォームをもって、非常に多くの方が賛成しているという判断をされているわけですが、グーグルフォームは一家庭に4人いれば4人分送れますし、誰が送ったかもわからないと思います。

事務局： グーグルフォームには、地区やお子さんの通われている学校などの情報も含めてご回答いただいています。ただ、おっしゃる通り、説明会に参加された方がグーグルフォームでも回答されているかどうかは把握できていないのが現状です。

保護者3： 私自身、送ったり送らなかつたりしています。今回は送ろうとしたら送れなかったこともありました。実際にはないと思いますが、反対している人が色々な人の携帯を使って送ればカウントされてしまうと思いますので、グーグルフォームの数だけで判断するのは難しいと思います。やはり家庭数単位や学校単位できちんと聞くなど、もっとしっかりした方法で意見を取った方が、皆さんも納得できるのではないかと思います。それから要望ですが、前回の資料に載っていたグーグルフォームの意見は、そのままの形で掲載されたのでしょうか。

事務局： そのままでは載せていません。個人を特定するような発言の部分もありましたので、そこは削除しました。

保護者3： それは削除していただいたと思いますが、読んだ時にすごく辛くて悲しく思いました。この計画はまだ決まったことではないですか。

事務局： 計画としては決まっております。令和7年3月にこの計画のもとに進めていくというのは教育委員会の方針としてあります。

保護者3： 賛成・反対は言ってもいいですか。

事務局： フォームでも意見をいただいておりますので、そこは問題ありません。

保護者3： 意見は尊重されるべきであって、本当に保護者が送ったかどうか不確かなところもありました。賛成・反対で保護者同士が分断されることは望んでいな

いので資料を作る際には、人権意識を持って、お互いが傷つけない載せ方を
していただきたかったと思っています。あの資料を読んだとき、反対意見を
言うてはいけないのかという感じ方をしてしまい、悲しかったです。子ども
たちにとっての最善を考えて意見を言っているのもあって、保護者同士の関
係はこれからも続いていきます。その点をもう少し考えていただきたかった
と思っています。賛成・反対の分断がすでに生まれてしまっている時点で、
この計画はいい計画とは思えず、反対しています。そういう気持ちのままでは、
いい学校と一緒に作っていかうとも思えません。また、教育委員会は非
常に多くの方が賛成していると判断されているようですが、私の周りには賛
成だという人がいません。そのズレがある中で、教育委員会側だけで判断を
するのはやめていただきたいと思っています。

最後に伺いたいのですが、この統廃合は子どもにとって本当に最善だと断言
できますか。また、小規模校では社会性が不足するというデータがあれば教
えてください。

事務局： 我々としては小規模校だから社会性が不足するというような捉え方ではあり
ません。もしかしたらそういった研究データを探せばあるのかもしれませんが、
現時点ではデータを把握していません。統廃合は子どもにとって最善か
とのご質問ですが、それぞれの子どもの環境や状況によって変わるので、そ
れは言い切れるものではないと思います。ただし、教育委員会としては、一
定程度の集団の中でお子さんたちを育てていくということが一番望ましい環
境だと判断してこの計画に進んでいるところです。

保護者3： この計画が進んで、今よりいい環境にならないのであれば、うちの子にとっ
ては善にはなりません。その子によって違いますが、そうなると勝手に言わ
れて、実際に良くならなかったとしたら、統合する必要はないと思っていま
す。100%の保証はないとは思いますが、新しい学校の方が子どもたちにとっ
て良くなる、あなたのお子さんにとって良くなると断言していただけるのか
どうかというところです。資料の7ページにある再編後の学校づくりのチェ
ック項目4つは、今の学校でも既に取り組んでいたいただいているので、統合し
なくても失わずに済むのではないかと考えています。統合によって確実に良
くなるというデータや数値、根拠をもっと示していただきたいです。
教育長として、教育に責任を持って本当に良くなると言い切っていただけ
るのか聞かせてください。

教育長： 再編後の新しい学校が必ず良くなるとの責任までは負えませんが、統廃合し、
一定の規模になることで、お子さんたちができることが必ず増えます。選
択肢と色々な可能性が増えるのは間違いありません。したがって、子どもたち

のために、教諭、職員はもちろん、保護者も地域も、教育委員会も、全員が
いい学校を作っていくという姿勢の方が大事であって、ただの数合わせをし
ただけで、いい学校になりますという断言は私たちでもできません。そう
ならないように最善の努力をするつもりであります。お答えになっていますか。

保護者 3 : それに納得している方がたくさんいらっしゃるのかどうか。教育長さんはど
う思われてますか。

教育長 : 長い歴史を持った地域の拠点校である山田小に限らず、今ある 13 の小学校
はどこも大事な学校であることはよくわかっていますし、少ない中でも教職
員や保護者や地域が一生懸命学校に関わって子どもたちの育成に尽力してく
れていることもよくわかっています。ただ、これだけ子どもの数が減ってき
て、今後も減っていく中で、やはり教育の質を考えていかなければなりません。
それを維持向上させていこうと思えば、一定の児童数は私は絶対必要だ
と思っています。小規模校のメリットよりも、課題が出始めています。例え
ば新見とか高梁のように、第 2・第 3 段階で地域から再編をしてもらいたい
と言われて、十数キロ離れた学校に再編というものとは違って、玉野市の場
合は 13 の小学校が割と隣接しています。やはり統廃合をして、一定規模の中
でこれから変化する社会の中で育つ人材を育てたいというのが教育委員会の
考えです。

保護者 3 : 教職員も地域も保護者もみんなで協力して子どもを育てていくということが
大事ではないですか。でも協力する気になれていない。それは統廃合に納得
できていないからであって、子どものために、納得できる説明会をしてい
ただかないと協力はできないではないですか。みんなが統廃合はいいことだ
と思って進んでいかないと、いい学校にするために協力したいって保護者も
思わなかったら私はできないと思う。一定規模というのも想像できますが、
この学校をなくしてまでとは私は思わない。教えていただきましたが、反対
させていただきます。

事務局 : 教育委員会としてどういう考え方でどういう進め方、対応をすれば、理想の
学校を作っていけるのかを具体的に教えていただけますか。
あくまで漠然とした理念だけの話になりますと、こちらも理念としてのご回
答になります。例えば、通学面の安全確保や再編後の学校の対応など具体的
なものがあつた上で、このような対応をしてくれれば、再編に前向きに理解
できるという考え方はありますでしょうか。

保護者 3 : それは、前に聞かれて、やっぱりお答えは一緒になってしまいましたが、私は

ここに通わせて、卒業させてあげたいと思っているので、どうしても堂々巡りになってしまいます。統合を前提とした議論の土俵には、まだ上がられていない状況です。

事務局： 今、山田小に通う中で、胸上小と統合した場合に、何が大きく変わってしまうのか、何がご心配なのか。山田小ではなく胸上小に通うことへの不安、あるいは再編に反対されている具体的な理由をお聞かせいただけますか。

保護者3： 行きたくないというわけではありません。本来は鉾立小に通わせたかったのですが、耐震工事がされていない状況で、安全面の不安から学ばせられないと思い、1年生として入学させることができませんでした。山田小か胸上小かを選ぶ際、鉾立小と胸上小が何年か後に統合されることはわかっていました。入学した学校で環境が大きく変化せず、6年間学ばせてあげたいという思いから、山田小を選びました。山田小の再編は入学後に知りました。山田小を選んだのは、環境も地域も良く、少人数で一人一人丁寧に見ていただけるという点に魅力を感じたからです。子どももここで卒業したいと言っていますし、今では子どもにとって大切なふるさとになっています。その場所を守りたいという気持ちから反対しています。

事務局： 教育委員会としてどのような対応をしたとしても、山田小にずっと通わせたいという思いから反対されているということですか。

保護者3： はい。

事務局： 今回お越しいただいた方の中にも、反対の方もいれば賛成の方もいらっしゃいます。賛成・反対の両方の声があるという現状を保護者の皆さんにお伝えすることは大切だと考えており、前回の資料でもそうした意見を紹介させていただきました。悲しい思いをされたとのことは、申し訳なかったと思っています。ただ、説明会の場では反対の声は上がりやすい一方で、賛成の方は声を上げにくい現実もあります。そういった状況も踏まえて、あのような形で資料に掲載した点をご理解いただければと思います。

保護者3： どうなるにしても、保護者の皆さんが前を向けるように、分断ではなく協力し合いたいと思って、その気持ちでこの計画と一緒に取り組んでいけるようにしていきたいというのが私の思いです。

事務局： これまで複数回にわたり山田小学校の保護者を対象とした説明会を開催させていただきました。今後は引き続き、山田地区の地域住民を対象とする説明

会も順次開催をさせていただきたいと考えております。今後の再編に関するご意見を聴取する仕組みにつきましては、今回ご質問いただきましたので、検討した上で、後日 tetoru でご連絡をさせていただこうと思います。では最後に教育長の方から一言ごあいさつを申し上げます。

教育長： 今日まで5回にわたり、本当に貴重な時間を頂戴して、様々なご意見をいただきました。賛否両方あるのは当然で、反対意見も本当に貴重な意見だというふうに捉えております。ただ、この後、6回目、7回目を開催したとしても、おそらく同じような形になるのではないかと思います。我々としては、今までずっと説明をさせていただきましたが、やはり小規模の課題、これを解消するために計画を立てており、教育委員会の責務だと思っております。保護者の皆様のご意見を様々な形でいただきましたが、反対のご意見もあるし、賛成のご意見もある中で、5回の中にグーグルフォームも含めて、一定のご理解をいただいたと判断いたしました。そして、次の段階に進んでいきたいと思っております。学校の教育は学校だけでは完結しません。保護者の皆様や地域の協力なくしては、学校づくりはできませんので、地域説明会を丁寧にして、その場でもご理解をいただき、その後、新しい学校の再編準備委員会に向けて、進めていきたいと思っております。もちろん納得できてない方もいらっしゃると思いますが、ぜひ、子どもたちのために、地域、保護者としてご協力いただきたいと思います。